

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通活性化協議会
事 務 局	都市整備部交通対策課
開催日時	令和 8 年 7 月 2 9 日（水） 9 時 3 0 分～ 1 1 時 1 5 分
開催場所	萌え木ホール 3 階 A 会議室
出席者	[委員（敬称略）] 鈴木文彦、原田泰彦、岩澤貴顕（代理出席）、富樫秀樹、三浦裕介、宮下誠、秦野凌、小川将和、高橋哲哉、信山重広、平野景一、川村英輝、新井卓也、並木正彦、青木亮、池内隆司、坂本敬、永田尚人、平野武、小田切美穂、紺野有佳、斎藤健夫、小根澤裕子、田部井一嘉、日野靖久 [市事務局]渡邊健介（都市整備部交通対策課長）、千葉祐生（都市整備部交通対策課交通対策係長）、越聖子（都市整備部交通対策課交通対策係主任）、パシフィックコンサルタンツ(株)
傍聴の可否	可・一部不可・不可
傍聴者数	1 人
会議次第	議題 ① 前回会議（令和 8 年度第 1 回協議会）でのご意見について ② 地域懇談会・オープンハウスの実施報告 ③ 交通ネットワーク再編（C o C o バス・路線バス）及び C o C o バスの運賃改定（案）の意見募集に対する意見及び検討結果について ④ 小金井市交通ネットワーク再編事業 ⑤ C o C o バス運賃改定の決定内容について ⑥ 協議が整った証明書（再編・運賃）について 報告 ① J R 中央線東小金井駅のホームドア運用開始について ② C o C o バスだよりについて 〔資料〕 資料 1 前回会議（令和 8 年度第 1 回協議会）でのご意見について 資料 2 地域懇談会・オープンハウスの実施報告 資料 3 交通ネットワーク再編（C o C o バス・路線バス）及び C o C o バスの運賃改定（案）の意見募集に対する意見及び検討結果について 資料 4 （別紙）パブリックコメントの結果 資料 5 小金井市交通ネットワーク再編事業 資料 6 C o C o バス運賃改定の決定内容について 資料 7－1 協議が整った証明書（再編）（案）…京王バス 資料 7－2 協議が整った証明書（再編）（案）…つくば観光交通 資料 8－1 協議が整った証明書（運賃）（案）…京王バス 資料 8－2 協議が整った証明書（運賃）（案）…つくば観光交通 資料 9 J R 中央線東小金井駅のホームドア運用開始について

	資料 10 C o C o バスだより v o l . 1 6 席次表
発言内容・ 発言者名 (主な発言 要旨)	事務局： ただいまから令和8年度第2回小金井市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 — 会議成立の報告 — — 資料確認 — — 会議録について — — 委員紹介 — 会長： 改めまして、おはようございます。朝早くから、この時間だというのに暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。本当に最大級の酷暑ということですので、ぜひご自愛ください。私もさすがにこの間の体温超えの日は何もする気がしなくて、ずっとエアコンのきいた中にいましたが、少し昨日はよかったのですが、それでも外の現場にいないてはならないこともあるものですから、この暑さには大変です。皆さんもぜひお体には気をつけて健康を崩すことのないようにご自愛ください。 本日、今ご案内がありましたように、この会議を約1時間半、その後で運賃部会で運賃の決定という段取りになりますので、進行にご協力をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、進めさせていただきます。 それでは、議題①前回会議でのご意見について、事務局から説明をお願いいたします。 事務局： — 資料 1 に沿って説明 — 会長： 今説明がありました対応のところ、これを参考にしてパブリックコメント、あるいは地域懇談会、オープンハウスの実施に反映しているということですので、この後、議題②のほうでそうした説明があると思いますので、議論はそちらのほうでさせていただくようにしたいと思います。 それでは、議題②地域懇談会・オープンハウスの実施報告を事務局からお願いいたします。 事務局： — 資料 2 に沿って説明 —

会長：

今回私も地域懇談会とオープンハウス、両方とも参加をさせていただきました。

11時ちょっと過ぎぐらいから来て、結果的には関野橋循環の写真を撮ったりして終わるところまでいたのですが、非常に興味を持って足を止めてくれる人も多かったと思います。

ただ、地域懇談会のほうはもちろん参加される方はそれなりの意識を持ってわかって来られているわけですが、オープンハウスのほうを見ていると、こういったことを全然知らなかったという人も私が声をかけた中でもいましたので、これからも周知は必要かなと思います。

こういった機会をきちんと作って反映してきたのは非常によかったなと思います。

当日も市民の委員さんを何人もお見かけしましたが、もしご意見等がありましたらぜひお願いしたいと思います。いかがでしょうか。地域懇談会、オープンハウスの実施報告に関連して何かご意見等がありますでしょうか。

青木副会長：

地域懇談会とオープンハウスはご苦労さまでした。地域懇談会の緑分館で参加者から、当日手話通訳を必要な方がいないのに手話通訳者が何でいるの？という話が出ました。実際その場では市のほうからも説明をいただいて、午後のときにも説明をいただいているのですが、無用のトラブルを避ける意味でもこういう開催の案内のときにも、市の方針で入っていただきますということは一言言っておいたほうがいいのかという感じがいたしました。

事務局：

小金井市には、障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例がございます。我々のほうで行う地域懇談会や説明会については耳が不自由な方がいる、手話が必要な方がいるということをしっかり周知する場でもあると思っていますので、必要な場面でしっかりとアナウンスしてご理解いただけるように努めたいと考えております。

斎藤委員：

地域懇談会の感想の中で運転手不足について、参加の方から外国人の運転士について小金井市が採用してはどうかという話が出ていたのですが、バスの事業者さんも外国人の採用はやっていて、あまりテレビなどでは言っていないと思うのですがYouTubeなどでは京王バスさんがネパールとインドネシアから60名採用する見込みということがアナウンスされていたので、こういったことがもっと周知されればいいなと思いました。

資料1について、特に何も意見を求められることはなかったのですが、こちらについても今よろしいですか。1ページですが、

（５）市北部の再編案についてのところの３番、ご意見の中の一
番下の行に「誤解を招く恐れがあり」とありますが、明らかに誤
りなので、この部分は削除すべきと思います。

それから、発言者の順番が、私、永田委員、三浦委員、青木副
会長になっているのですが、実際には私、三浦委員、青木副会
長、永田委員なので、順番を変えてもらったほうがいいのではな
いかと思いました。

２ページですが、（７）ＣｏＣｏバスの運賃改定（案）につい
て、２と３の間になると思うのですが、ＣｏＣｏバス運行ガイド
ラインに関する追録を発行したらどうかという話をしたと思うの
ですが、これがこの中にはありません。なので、もし抜いたとす
るならば何でなのか。それとも単に抜けてしまったのか。そのこ
ところをお伺いしたいと思います。

事務局：

資料１については発言の順番は確認します。

（７）のところ、ガイドラインの追録につきましてはご意見が
ありましたので、こちらのほうに資料として追記したいと思います。

斎藤委員：

「誤解を招く恐れがあり」というのは？

事務局：

確認の上、修正させていただきます。

会長：

ほかにいかがですか。

三浦委員：

外国人採用の話が出たので、今の当社の状況を補足させていた
だければと思います。

ホームページで７月２２日に外国人採用の運転手がデビューし
ますというプレスリリースを発表させていただいております。これ
は特定技能外国人制度というものを活用して、今事業者各社が
取り組んでいるところでございます。弊社においてはネパール、
またインドネシアから現在８名が入社済み、５２名が内定で、合
計６０名というところになってございます。数が多いように見え
るのですが、内定から出向に行く人も結構いたりするので、どれ
ぐらいの方が実際にデビューまで行くかというのはまだわからな
いところでありますが、なかなか日本人の採用が伸び悩む中で、
今後要員充足の強力な切り札として当社も考えているところでご
ざいます。

今現在、調布のエリアで実際にデビューしようとしておりまし
て、府中、小金井エリアにはまだ配属がないところではあるので

すが、今後いろいろな営業所で配属される可能性がございますので、C o C oバスにも乗務する可能性は出てくるかなと思っております。そういったところは事前に市様にも連携させていただいた上で、地域の方に応援していただきたいという思いは会社としても強く持っております。中には外国人に運転してもらうのは不安ですとか、回送教育中にそういったメールフォームに届く声もありますので、地域の方に応援していただきたいという思いを強く持っておりますので、例えばC o C oバスだよりに取り上げていただくとか、そういった形での連携を図らせていただいて、そういった方々が気持ちよく働けるような体制は我々としても求めていきたいので、引き続きよろしくをお願いしたいと思います。

会長：

ありがとうございます。今外国人運転士が少しずつ全国からデビューが始まっていくところですが、今後定着するかどうかというのは、本当に今三浦さんがおっしゃったように、地域の皆さん、あるいは乗客の皆さんが理解してくださるかどうかだと思います。そういう意味で透明な目で見えていただければと思いますので、その辺の周知も併せてよろしくお願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。

青木副会長：

オープンハウスのほうのアンケートで、再編と運賃のところで反対の方が若干おられます。理由を書いてくださいとしています。が、もし理由を書いているようでしたら教えていただけますでしょうか。

事務局：

今手元にないので、確認をさせていただきます。

青木副会長：

人数が2人と1人なので書いていない可能性もあるのですが、もし書いてあるのなら参考になるのかなと思いました。

永田委員：

今の青木委員からのご質問ですが、多分北東部循環が20分間隔が30分になるということで、そのあたりが主な反対意見ではないかなといろいろな資料を拝見していて思った次第です。

事務局：

私の記憶ですが、市北部の路線については運行頻度が減ってしまうこと、関野橋循環の終バスが早まってしまうことのご懸念だったと。

南部の反対のご意見については、東町循環を北口ではなく何とか南口に戻してほしいという、ご意見だったという記憶です。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

今の東町循環の件については、私もオープンハウスのところで聞いていたりして思ったのですが、現状の東町循環の運行間隔、あるいは南口から北口に移したあたりの経緯というのは、これは地域の人たちのきちんとした話し合いの元で、こういう形になってもこの部分を大切にしたいという意見の中でできてきたという経緯がありますので、この辺はきちんとアナウンスをし続けるべきだろうと思います。

それから、特に南口に入るところの栗山通りは沿道からの危険だという声もあったということもきちんとアナウンスしながら、経過がわかるようにこれからも、前回の再編をしたときにはそれなりにわかっていただけだと思えるのですが、時がたつと新しい人が来たりもしますし、当時のことを知らない人もいたりしますので、この辺の説明、アナウンスはきちんと続けていくべきだと思います。そうでないと、単なる反対みたいな、あるいはこうしてくれみたいな話というのはいくらでも出てくると思いますので、そのように考えていただければと思います。

事務局：

先ほどの市民アンケートのところを確認しました。どの項目というところではないのですが、そもそもＣｏＣｏバスの運行の現状がほかの自治体と差があるのではないかとというところ、あとは３０分間隔では長すぎ。これは北東部循環の話かなと思ってございます。ほかで言いますと、東町循環の駅が南口か北口というよりも、乗り降り口が改札から遠いことに関するご意見。運賃に関しては、元の運賃額に戻してほしい、という意見でした。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、次へ進めさせていただきます。議題③交通ネットワーク再編及びＣｏＣｏバス運賃改定案の意見募集に対する検討結果について、事務局からお願いいたします。

事務局：

—資料 3、資料 4 に沿って説明—

会長：

それでは、ただいまの説明について、特に意見に対する検討結果という部分、これに対してご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。

青木副会長：

６番と１６番の意見は明らかに自分たちが中町と東町の犠牲に

なっているという前提で書かれているんですね。ほかにも、関野橋循環はお客さんがたくさん乗っているから増やしてくれというのも、要は儲かっているんでしょという前提としての意見です。それなのに何で減らすのかという視点があると思いますので、書き方のところで、関野橋循環にしても必ずしも利用状況はそんなに良いわけではないですし、ある意味何もしなければ京王バスとしてダイヤ改定で昼間はなくなるという事情がこの検討会には出ていましたから、そのあたりまで言ってしまっているのではないかなと思います。単純に中町と東町を犠牲に北東部のほうを再編しているのではないですよということが少なくとも資料としてわかるようにしたほうが後々いいような気がいたします。

事務局：

東町と中町は、もともとの方針があったということ、それから、市内全域のこととして路線バスを含めて今回の見直しをしていて、やはり市内全域で地域公共交通を維持していかなければいけない。それについてはパブリックコメントの回答の中で、しっかりと説明していると考えております。

今回検討結果として出すにあたって、そこら辺を踏まえた上での回答としているつもりではあります。これまでの検討経過を載せるとかなりの分量になってしまいますので、少しそこはわかるように、皆さんにご理解いただけるように掲載しているものです。

あとは、関野橋循環のところについての意見が多くなっております。回答に当たっては、京王バスの三浦委員にもご相談させていただきまして、京王バスさんとしての考え方、それからそれを踏まえて市として協議会において検討した経過について記載しているところです。

若干わかりづらい部分とか、うまく伝わっていない部分があるようでしたら、もう少しこういう視点でとか、こういう表現でというところを言っていただければ我々は改めて確認して、会長とも相談をさせていただきながら修正する準備もごございますので、ご意見をいただければと思います。

青木副会長：

どこまで書くかはありますが、関野橋循環の利用状況から、昼間の時間帯については運行ができなくなるまでは言ってしまってもいい気がいたします。要はそれがあるからC o C oバスが代替するんだと。そうしないと、単純に車の台数の都合から1台とにかく減らさなければいけないから、そのために関野橋循環をやめて中町を維持するんだというふうに勘違いされてしまう可能性があるような気がしますし、明らかにパブリックコメントを書いた方はそういう意図なんだろうなと思いますから、この議論そのものは議事録にも出ている話ですから、ストレートに言ったほうが私はいいのではないかと思います。

事務局：

パブリックコメント結果の４ページの２番のところですが、中段あたりの「以上」から以降が今まさに青木委員からご指摘いただいた内容かなと思っております。「朝と夜においてバスの運行便数、運行時間帯を維持していくことは極めて困難。朝の減便と夜はほかの時間と比較して利用者が少ないために１時間繰り上げざるを得ない状況と運行事業者より伺っております」という形で記載はしております。

青木副会長：

バスの減便と同時に、昼間の時間帯についても取りやめざるを得ないのでとは書けませんか。そうすると代替せざるを得ないとわかるので。

事務局：

昼間の時間帯はＣｏＣｏバスのほうで代替するというのをこの中にでしょうか。

青木副会長：

そこまで言ってしまっただけで、何もしなければなくなりますよ。だからＣｏＣｏバスで代替するんです。そのためには少し利用者の方にはご迷惑をかけるかもしれないけれど、市全体のためにご理解いただきますという論理になると思います。

事務局：

その表現につきましては京王バスさんと会長と相談させていただいて、必要に応じて修正させていただきたいと考えております。

会長：

論理展開から言ったら青木委員がおっしゃるとおりで、このままだったらゼロになる可能性があるというところはどこかで言っておかないとなかなか理解は得られにくいのかなということがあると思います。そこは工夫させてもらえればと思います。

事務局：

地域懇談会とかオープンハウスのときにそういうお声をいただいたら、まさにそういうストーリーをちゃんと作って、お相手の理解とか、どこまでご存じかというのを含めてフォローができるのですが、書面で残すとなるとお相手の方の意図がどうしても酌み取れないところがあって、どうしてももう一步回答できればみたいな部分が出てしまったなという感想はあるのですが、他の質問と回答のバランスも踏まえて、いろいろ考えた結果ではあるのですが、もう少し考えてみたいと思います。

坂本委員：

今事務局が言われたように、ここの部分をそこまで書くと、ほかの部分もうちょっと深掘りしなければいけないんですよね。そうすると、かなり答えがみんな長く深いものになっていくので、ちょっとそこはよくよく考えたほうがいいのではないかと思います。

むしろ地域懇談会では、そういう具体的な、ある地域を救済するためこちらの地域が迷惑をこうむって困るというようなことは資料の中では読めなかったのですが。それは地域懇談会に出てくる人はある程度理解した上で自分の意見を言おうとしているのか、それとも関野橋とか東町を救うために北東部が迷惑をこうむっているというのは多少はあるけれども、そんなに露骨に出なかったのではないですか。

痛みを分かち合うということは市民としてわかるから、20分間隔が30分間隔になってもしょうがないというスタンスで地域懇談会に出て、その辺は吞み込んでいたのではないかと私は感じたのですが、どうですか。

要するに、青木委員の言われることももっともだと思うのですが、さっき事務局がおっしゃったようなことも踏まえて、ここだけ深掘りすると、ほかのところの答えももう少し踏み込まなければいけないのではないかと懸念されます。私はいただいた資料を読ませていただいて、かなり苦労されてバランスよく作ったんだと思います。

また、事務局がおっしゃったように、書いている人の意図がどの程度か、またはただ何でも文句を言っているのかどうかかわからないときに、あまり突っ込まないほうがいいような気もするので、その辺は十分考えていただいて、会長のご判断で書かれたらどうですか。私はそう思います。

会長：

事務局から何かありますか。

事務局：

地域懇談会には東町循環と中町循環の方と北東部循環の方が多くいらして、関野橋循環の利用者の声あまり聞けなかったというのがありました。オープンハウスのときは、関野橋循環のバス停で並んでいた方にチラシを配りに行きまして、それがパブコメの1週間前で、締め切り間際になって関野橋循環の方から急にご意見が来たというところがあるかもしれません。通して読んでいただいた上でのご意見なのか、とりあえず締め切り間際なので出された意見なのかを選別ができなかったというのが正直なところで、伝えたいことはもっといっぱいあるのですが、検討を重ねて回答を作りまして、これをさらに詳細にという読んでいただけないかもしれない悩ましいところがあります。今いただいたご意見も踏まえてもう少し考えてみたいと思いました。

事務局：

地域懇談会の際に、仮に東町循環、中町循環がなくなったときに交通不便地域がこれだけ広がりますという資料も見せて、そこは結構強めに説明しましたので、そのところは皆さんご理解いただけていたと思います。市内全域でそこをなくしてしまうと交通不便地域が広がってしまうことが今回検討結果の中では少し漏れている部分があるのかなと思います。坂本委員からアドバイスをいただいたとおり、会長と相談をさせていただいて、よりよい検討結果といいますか、回答を作りたいと思っております。

会長：

ほかには。

池内委員：

15番ですが、ここに車両の詳しい方がいますが、私、調べる時間がなくてですね。これってバス会社のe-JEST、KARSAN、日野デュトロZEVバス、これが本当に重要であるなら検討してもいいのかなと思ったのですが、どうなんですか。バリアフリー性を書いています、EVバスなので結構高いと思うのですが。

会長：

確かに例えばKARSANの車は私も実際に見ていますし、使い道としてはコミュニティ的なものにはなるとは思いますが、これはロケーションやどういう使い方ができるかあたりのところが違ってきます。例えば路線バスとしての乗降の仕方とか、そういう点から言うとポンチョにはかなわないです。例えばKARSANの車は長さは7m弱ぐらいなのですが、ドアが1つあるだけなんですね。車内スペースもポンチョに比べると狭くなりますので、どういう状況の路線だったら使いやすいとか、この辺はだいぶ変わってきますから、実際に那須塩原市とかこれを使ってコミュニティバスをやっているところがありますが、現場や利用者からも賛否両論ありますので、この辺は選んでいく必要があるかなと思います。

池内委員：

小金井市の視点の選択というのはスタンダードで間違いはないと。

会長：

今の段階で今の車両選択は間違っていないと思います。あとは価格の問題は当然あると思います。

幅はそれなりにありますので、ハイエースの代替にはならないです。

池内委員：

これを読んでいて、寄せられた意見は頭が痛くなるような感じだったのですが、よくここまで回答を作られたと。結局同じような、持続可能な公共交通を作るためという部分が一番の大義名分になっているので、それを前面に打ち出されているので、この回答というのはこれしかないのかなという気がします。

これはホームページに載るのですか。

事務局：

そうです。

池内委員：

その後のリアクションが来たことはありますか。

事務局：

載せた上でのリアクションはそれほど多くないと思います。その後も意見が届き続くものもあるのですが、本来はそういうものではないかなと思います。

池内委員：

まあそうですね。振動の部分とかしょうがないです。生活に関わるものに関しては。素晴らしい回答だったと思います。

会長：

ほかにはよろしいですか。

若干その辺についてもう1回事務局と私のほうで検討しますが、池内さんがおっしゃったように、この寄せられた意見に対してよくここまでというのは正直私もそういう思いはあります。

それでは、検討結果は基本的にはこの内容で決定ということでよろしいですか。ありがとうございました。それでは、そのように進めさせていただきます。

次に議題④小金井市交通ネットワーク再編事業について、事務局からお願いいたします。

事務局：

—資料5に沿って説明—

会長：

ありがとうございました。それでは、ただいまの交通ネットワーク再編事業についてご意見、ご質問があればお願いしたいと思います。

事務局：

今回、最後の野川・七軒家循環の時刻表を少し修正しております。

す。こちらについてはつくば観光交通さんに少し影響が出てしまうのですが、ご了承いただきましてありがとうございますということで、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

会長：

何かございますでしょうか。

青木副会長：

2点ほど。1つは梶野公園のバス停位置ですが、今日いただいた新設バス停の地図ですと梶野公園の東の隅というか、スーパーヨークフーズの端っこのような気がするのですが、事前に送っていただいたものと西のほう駅に近いところのような気がするので、そこら辺がどうなのか教えていただきたい。

もう1つは、野川・七軒家循環が3分遅くなるということで、そこはいいのですが、今武蔵小金井駅のところで時間調整のためにバスプールのところでC o C oバスも、京王バスも待っていると思うのですが、そこは影響がないという理解でよろしいのでしょうか。

事務局：

梶野公園バス停の位置ですが、ざっくりとした地図なのでそのように見えてしまったかもしれませんが、もう少し右側を指すように修正します。

もう1点、武蔵小金井駅南口での出発や待機の時間についてはバス会社さんと調整した上でこの時刻表の案を出しております。実際の運用についても現場の方と調整しながらスムーズに行くようにやっていきたいと思っております。

斎藤委員：

前回の資料と見比べてみたのですが、前回の資料と比べると1ページから5ページまでがなくなっているということなのですが、指摘事項が前回の資料の2ページと5ページについても委員からの指摘があったと思うのですが、そのところが何もなかったのかなと疑問に思います。

それから、資料5ですが、前回のページと比べると、6、7、10、8、11と順番が若干入れ替わっている部分がありますが、そこは何か意図があるのかなというところを教えてくださいなのですが。

事務局：

前回の資料は前半のほうに前提条件や経過をつけていますが、今回は資料7、8につける別添と、具体の再編の内容をお示しする目的の資料なので、前半のほうのこれまでの検討の説明の部分はカットした状態で作成させていただいております。

資料の並び順に関しては、前回ご指摘いただきまして、少し順

番がわかりにくいというご意見があったので、それにならって修正をしました。

斎藤委員：

さっきの説明でそのあたりを言ってほしかったです。

それから、前回指摘があった点については、1ページから5ページに関するところについてはカットしてあるということですのでよろしいですね。

事務局：

はい。資料7、8証明書の別添というような位置づけで今回の資料は作っておるところですので、あくまで具体のC o C oバスにおいてどこが変わるかの説明資料の状態になっています。

斎藤委員：

その辺のところを初めに言っていたかかないと意図が理解できなかったです。事前に送られてきた資料をこちらのほうではちゃんと事前に見て、その上で意見を述べたりしているわけなので、そういうところも事前に言っていたかかないと困るかなと思いましたので、その辺については今後よろしくお願いしたいと思います。

それから、資料の5ページ、5) 関野橋循環（武03・04）の運行とあるのですが、この小見出しですが、下の実際の図を見てみると内容的には、内容を正確に反映している小見出しではないのかなという気がいたしました。

内容は自分的にはどう理解したかということ、路線バス（武03・04）の運行見直しという内容が当たるのではないかなと思うのですが、そのところ。

それから、その下の文章の2行目「運行変更に合わせて」とあるのですが、ここは今回再編の話をしているので、「再編」としたほうがいいのではないかな。

3行目、「の運行にも変更が生じます」とあるのですが、このところは単に変更が生じるとさらっと流すのではなくて、減便になる旨をきちんとアナウンスメントしたほうがいいのではないかなと思います。

事務局：

資料5ですが、前回の協議会の資料がありまして、いろいろとご指摘を受けて、直したのがパブリックコメントの資料として出ているものになります。パブリックコメントを出したときの資料を今回の資料に合わせているということになります。ですので、基本的にはパブコメに出した資料と同じような体裁をしているというものです。

それを踏まえて、今斎藤委員がおっしゃったところでどこまで対応するのかということについては、一旦事務局のほうで考え

て、必要があればということで修正をさせていただこうと思います。それについては会長とも相談をさせていただければと思います。そのようにご理解いただければと思います。

斎藤委員：

ありがとうございます。もう1つ、5ページの下のところに「図 関野橋循環（武03・04）の運行・再編後の路線バス関野橋循環時刻表（案）」とあるのですが、「時刻表」と書いてあるのですが、これは表ではないので、「表」は要らないと思います。

それから、内容的には、自分の読み方が間違えているかどうかわからないのですが、自分はこの部分についてどう読んだかというと、「路線バス関野橋循環（東01・02）再編後の路線バス（武03・04）運行（案）」という形に読んだのですが、そのところはいかがでしょうか。

事務局：

「時刻表」のところは確かに表現として間違っているところがありますので、こちらについては修正をさせていただきます。

また、図の中の表現をということですか。「図 関野橋循環（武03・04）」のところをということですか。

斎藤委員：

そうですね。まず「表」を取るということと、「図」以降の表現を今申し上げたような感じに。もう一度申し上げますと、「路線バス関野橋循環（東01・02）再編後の路線バス（武03・04）運行（案）」という形でどうでしょうかということです。

事務局：

03・04のところ、「路線バス関野橋循環（武03・04）の運行再編後（案）」。

会長：

三浦さんに確認ですが、武03・04というのは路線名としては関野橋循環に含まれるのですか。

三浦委員：

社内定義では関野橋循環の1つです。

会長：

そうすると、関野橋循環（武03・04）という表現は間違っていないということですね。

三浦委員：

間違っていないです。

会長：

一般的に見たときには、わかりやすさという点は別として。

三浦委員：

そうですね。斎藤委員のおっしゃるとおり、路線バス関野橋循環の定義から武03・04を外したほうがわかりいいかもしれません。どちらの整理でも我々としては構いません。

会長：

さっきのパブコメの資料との関連ということもあるのですが、このページについてはタイトルと一番下の図のところの表現については再検討させていただきます。

川村委員：

東京運輸支局です。ご説明ありがとうございました。

この後説明されるのかわからないですが、資料7と8の道路運送法に基づく協議が調った証明書は、今後協議が調ってからですが、運行事業者であります京王バス、つくば観光バスが道路運送法に基づく申請書を我々に出される際に添付していただくものになります。

今いろいろご意見が出ておりましたが、我々としましては、各運行事業者様から出てくる申請書の内容が、この協議の場できちんと調っているのかということが、証明書からわかれば結構でございますので、資料7、資料8を、申請書に添付される際には、より申請内容と合っているかどうか、我々が審査しやすいよう実際の地図に路線図を落としていただいたり、新設されるバス停の住所を書いていただいたり、その辺もう少し具体的なものを添付いただければと思います。これはお願いでございます。

会長：

ありがとうございました。その辺は事務局のほうで整理をしていただければと思います。

ほかには。

紺野委員：

11ページの野川・七軒家循環の再編のことですが、3分後ろで、8時38分から20時8分となっていると思うのですが、これはきっちり30分とか40分というわかりやすいダイヤにはできないのでしょうか。乗る側としては遅延もあると思うので、40分とか、わかりやすいほうが遅延した場合、あれ、もう来ているのかな、どうなのかと結構お年寄りの人になるかなと思ったのですが、変更前を見ると、次の循環がすぐ来たりするので、この時間が一番いいのかどうなんですか。

事務局：

おっしゃるとおり、ぴったりの数字のダイヤのほうがわかりやすいと思います。できればそのようにしたいところなのですが、武蔵小金井駅南口は1つのバス停から3路線出ているんです。中町循環と貫井前原循環と野川・七軒家循環で、それぞれの時刻表が重ならないように京王バスさんのほうでいろいろなパターンをシミュレーションしていただいた結果、どうしてもこのようになってしまった。ほかとの重なりも防がなくてはならないというところがありまして、申し訳ないですが、そうなっています。

池内委員：

6ページの時刻表は非常にわかりやすくなりましてありがとうございます。

斎藤委員：

10ページですが、先ほども会長がおっしゃられたのですが、東町循環の再編に関して、パブリックコメントでもそうなのですが、南口の発着について結構意見が出ていたと思うんです。この下の米印を見てみると、例えばガードマンのことを書いてあるのですが、これを載せるぐらいだったら、さっきの南口の発着についての過去の、令和5年の再編の検討期間の話からの経緯を載せたほうがいいのではないかと。要は地域関係者や自治会、町会の代表者との協議を経て現行の運行ルートに決定したという経緯があること、それから、南口の道路は幅員が狭くて、C o C oバス、ミニともに車両制限令の基準を満たせないという旨の小金井警察からの見解が示されたということを書いていただければわかりやすいかなと思いました。

それから、11ページですが、野川・七軒家循環の再編の話で、「ルートや運行間隔、使用車両は現在のものと変わらない」とあるのですが、実際今回の再編の中で運行事業者等の変更もあるわけです。その辺の不安を今後野川・七軒家循環の利用者の方がもし感じるとするならばちょっと違うかなという部分があるので、ここに運行事業者を追加して、「運行事業者、運行間隔、使用車両は現在の野川・七軒家循環から変更はありません」としたほうが、より親切かなと思いました。

事務局：

今回の資料5につきましては、今後資料7の添付書類として一定準備しているものになっております。これとは別に、前回の再編のときには再編内容を経過等も含めて記載した冊子を作っていて、今回ここまで立派なものにはならないと思うのですが、これに近しいようなものを検討の経過として残しておくことを考えています。そちらの中で東町循環につきましては、南口を通るのが難しいという経過とか、そういった声があったということについても記載できればいいかなと思っています。

11ページのところ、こちらのほうはバランスを見て追記するかどうかは会長とも相談をさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

斎藤委員：

承知しました。ありがとうございます。

会長：

資料5に示されているのは、これは別に市民向けの資料ではないです。市民向けの資料は今説明があったように後から作成するということです。先ほどおっしゃったことはそちらでやられることだろうと思います。

ほかはよろしいでしょうか。いつの間にか時間がたっていますので。

平野委員：

今回の資料で10ページ、バス停を1つ新設します。梶野公園と案内されているのですが、今までこの議論は何もなかったのですが、その経緯を知りたいです。

事務局：

梶野公園のところは東町循環の市民の方とのお話をする中で、以前はくりやま通りを通っていたため、バス停の目の前に医療機関があって便利だったからそこを通してほしい、医療機関に行けなくなったというお声がありました。今回設置しようとしているバス停ですが、梶野公園の近くは大型スーパーも出来ましたし、大きい医療ビルもありますので、利便性を高める上でそういったところにも通いやすいようにという思いで、それから次のマロンホールのバス停までの距離が長いということがあったので、設置を各所と調整してきました。出し方が唐突に思えてしまったかもしれないのですが、内部的には少しそういったことも考えてきたというのがこれまでの検討の経過になります。ですので、ここにバス停ができることによって高齢者の方に対しては利便性が向上するのかなと考えています。

平野委員：

ここに止まるのはいつからですか。

事務局：

来年の4月からです。

平野委員：

個人的にはすごくいいなと思っているんです。なぜかというと、小金井市には小金井公園、武蔵野公園、栗山公園と3つありますが、大型スーパーに近いのはここしかないんです。梶野公園

というのは広々としておりますし、子どもも年寄りもみんなが遊べる、集えるところです。ちょっと買い物しようと思ったらヨークマートがありますから、そういった意味でいいところに作ったなと私は個人的には思っております。

会長：

ありがとうございました。それでは、ほかによろしければ、交通ネットワーク再編事業については、このような形で決定することによってよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、この先急ぎます。議題⑤ＣｏＣｏバス運賃改定の決定内容について、事務局からお願いいたします。

事務局：

—資料 6 に沿って説明—

会長：

ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

川村委員：

運輸支局です。念のため確認ですが、この後に運賃協議会をご予定されているから、そういう話だと思うのですが、運賃の話は運賃協議会で決めることなので、配布資料では、決定内容のようになっていますが、この段階では、案ということによってよろしいでしょうか。

会長：

これもあらかじめ申し上げておきますが、ここで皆さんからご了承いただくのは、これまで運賃についてこういう議論をしてきました。パブリックコメント等でもご意見をいただきました。その結果としてこのような方向性で行きたいと思います。それで、この後の運賃協議会で運賃額や割引内容について決定をいたします、ということについてはここではご了承をいただきます。それを先に申し上げておきます。そういう形で、小金井市では運賃部会と言っていますが、運賃部会との役割分担についてそのようにご説明させていただきたいと思います。

斎藤委員：

裏のページですが、上の文章の３行目目から４行目にかけて、「ＣｏＣｏバスガイドラインの内容に加え、運賃改定に関する今後の方針を定めることを検討しました」とあるのですが、「定めることを検討しました」というのがよくわかりません。実際に下のほうに方針とかがいろいろ出てきているのですが、なので「検討の上、定めることとしました」とか、「検討の上、定め

て、追記することとしました」とか、そういったような表現がいいのではないかと思ったということが1点目。

2点目ですが、高齢者割引の方法とあるのですが、一番下の行、「決定しました」とあります。ここの「決定しました」の主語は何かと思って見てみると、これは「介護保険被保険者証が」が主語になると思うんです。だとすれば、「決定しました」ではなくて、「用いられてきました」としたほうが文法的に正しいのではないかと思います。

最後もう1点、回数券の廃止のところですが、「お釣りは出ません」とありますが、確かにそうなのですが、いきなり「お釣りは出ません」と書くよりは、「なお、精算時においてお釣りは出ません」としたほうが親切ではないかと思いました。

事務局：

こちらについてもパブリックコメントの中でのものと同じようになっておりまして、今いただいた意見については内部で検討させていただいて、必要に応じて修正するという形を取らせていただければと思います。

斎藤委員：

もう少しわかりやすい表現にしていただければと思います。

事務局：

1点だけ修正がございます。裏面の今後の方針、ピンクの枠外右下に小さい字で「※C o C oバス・ミニでもI Cカードによる支払い方式を導入」と書いてありますが、これはミスでして、正しいのはパブリックコメントのときに書いた表現で、「※10円未満の端数が発生した場合は10円単位に切り上げます」という表現です。下の※をそのままコピーして持ってきてしまった関係で同じことが書いてありますが、「～10円単位に切り上げます」が正しい表現です。失礼しました。パブリックコメントは正しい記載で出しております。

池内委員：

表紙の「C o C oバス補助金が年々増加しています」とありますが、これは言い方として大体こういうことですか。何かC o C oバスで国から補助金をもらっているような感覚になります。市が持ち出しているということを言いたいのであれば、「C o C oバスへの補助金が増加している」にしたほうがいいのかなど。国からもらっている感じになっています。

会長：

C o C oバスへの市の補助金が年々増加しているということですね。

斎藤委員：

裏のページですが、回数券の廃止のところで、赤字で「回数券の新規発行を廃止します」とありますが、廃止ではなくて終了ではないですか。「新規発行を終了します」としたほうが表現的には正しいのではないかと思います。

会長：

表現を変えるとすれば、回数券を廃止し、新規発行を終了しますということですね。その辺調整させていただきます。

ほかには。

それでは、この内容、先ほどご意見がありましたが、この段階では運賃改定については案ですが、これまでの検討結果、あるいは市民意見等の結果を踏まえて、運賃に関する方針についてここでご承認をいただき、この後の運賃協議会で運賃額及び割引制度について決定していきたいと思います。そういう形で皆さんよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、方針について了承いただきまして、運賃部会で決定させていただきたいと思います。

それでは、次に議題⑥協議が整った証明書について、資料 7-1、7-2 が再編に関するもの、資料 8-1、8-2 が運賃改定に関するものになります。運賃改定については運賃部会で決意した後の確定になりますが、説明はここで行うということで、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 7、資料 8 に沿って説明—

会長：

何かご質問、ご意見等はございますか。これは今説明があったように、これまでご承認いただいた部分の、いわゆる道路法に基づいて典型的な資料ですので、中身自体には問題ないかと思います。よろしいでしょうか。

それでは、まず資料 7-1、7-2、道路運送法に基づく協議が整っていることの証明書（案）ですが、この再編についての資料 7 はこちらのこの協議会で「案」を取るということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

資料 8 のほうは、最終的には運賃分科会が行われた後で「案」を取るようになりますが、このような内容で進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、この内容で決定をさせていただきます。

以上で議題については終了いたしました。

この後の報告事項に入ります。まず 1 つ目、JR 中央線東小金井駅のホームドア運用開始について、JR の原田委員からご説明

をお願いします。

原田委員：

—資料 9 について説明—

会長：

何かご質問等はございますか。

坂本委員：

2 番線には設置しないのですか。

原田委員：

中央本線の本線ルートを各駅優先的に設置しておりまして、2 番線は中線になりますので、中線については今後設置予定です。設置予定はもちろんございます。今は本線ルートをメインで整備しています。

会長：

ほかにはよろしいですか。

続きまして、報告の 2 番目、C o C o バスだよりについて、事務局からお願いします。

事務局：

—資料 1 0 に沿って説明—

会長：

何かご質問、ご感想等ございますか。平野さんからいつも絶賛をいただいておりますが。

平野委員：

毎回楽しみにしています。

会長：

ありがとうございます。それでは、本日の議題、報告事項、すべて終了になります。

時間がだいぶ運賃協議会の予定時刻に食い込んでおりますので、実は一応これで再編の関係は全部終了しましたので皆さんから一言ずついただくと思ったのですが、時間的に厳しいと思いますので、何かぜひご感想等をいただける方がいらっしゃれば何人かからお伺いする形にしようかと思いますが、いかがですか。

平野委員：

今日の資料の中で、別紙パブリックコメントの結果で私が感心

したのは、2 ページ、ぜひお願いしたいのですが、意見に対する検討結果の中ほどに、「C o C o バスではどなたにも安心してご利用いただける環境づくりを目指し、全席をおもいやりシート」という言葉が出てきているんですね。私、いつも電車やバスに乗るときに抵抗があるのは、シルバーシートという言い方と優先席、これをおもいやりシートに変えていただきたい。そうすると気楽に利用できるのではないかと思います。

見ていますと、若い人は当然のように座るのですが、お年寄りが立っているんです。代わろうともしない。そういった意味で、もう少しやわらかい意味でおもいやりシートと書いてもらって、そうするとみんな和やかに和むのではないかと私は思っています。ぜひお願いします。

会長：

おもいやりシートという言葉が少し拡充していただければということですね。

ほかはいかがでしょうか。

三浦委員：

京王バスの三浦でございます。もともと今回の再編の原因者として改めて発言させていただければと思います。

今回の再編については、私どもの乗務員不足をきっかけとして、2 年前から皆さんにはこういった場で真摯にご議論いただいていたところでございます。

本当に業界全体の課題である乗務員不足、我々の処遇改善、またこういった見直し等も含めて足元の要員状況というのはようやく少しずつ落ち着いてきているところでございます。ただ、なかなか定年者等も今後控えているところでありますので安心はできないところではあるのですが、今回の小金井市の再編は本当に皆さんにいろいろご議論いただいた中で、バランスのとてもよい案に仕立てていただいたと感謝しておるところでございます。

我々、ほかの自治体様でもいろいろこういった議論をさせていただいているところであるのですが、本当にフラットに見て、小金井市の議論が一番密度も濃く、内容もよい、素晴らしい会議体であると思っています。今回の案を一日でも長く維持していけるように我々も引き続き乗務員採用等、頑張っまいりますので、引き続きどうぞご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。本当に今回はありがとうございました。

会長：

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

前回坂本さんにおっしゃっていただいたことがかなり皆さんの気持ちを代弁しているようなことを言っていたいただきましたので、それで1 つの区切りにしていただければありがたいと思います。

では、最後課長から何かございますか。

事務局：

私も昨年の４月から交通対策課長に着任しまして、私が来たときには市議会選挙などもありまして、かなり炎上していて、ＣｏＣｏバスがなくなるのではないかとこのころで大変なところに来てしまったなというのが正直なところですよ。

恐らく私が来たときにはある程度一番大きい山の部分は乗り越えて、少しずつ具体的な再編案の検討に着手する時期に来ていたのかなと思っております。時には本当に激しい、厳しいお言葉をいただいたり、時には後押しをするような言葉をいただいて、非常に励みになりながら、協議会の皆様のほうでご議論いただいて、何とかここまでこぎつけることができたのかなと思っております。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

会長：

それでは、私は特に何も申し上げず、そろそろ終了させていただきたいと思います。私もいろいろな協議会なり地域公共交通会議を各地でやっている中で、一番きちんとした議論がここではできたかなと思っております。本当に皆さんの真摯な対応に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

それでは、これで今日予定していた議事に関しては終わりますので、事務局にお返しして、ちょっと時間がずれていますので、この後のスケジュール等についてもご連絡いただければと思います。

事務局：

—事務局連絡—

事務局：

本日の協議会は以上です。ありがとうございました。

以上